

人文学部

メディア・表現文化学プログラム

取得できる学位 ★学士（文学）

■ プログラムの概要

本プログラムは、メディア論分野と表現文化論分野からなる教育プログラムであり、情報社会とマスコミュニケーションの現状、映像や身体を介した芸術表現の発展、サブカルチャーとネット文化など、今日のメディア・表現文化の多様な面について、理論と実践の両面から、幅広く学ぶことができる。

また、このプログラムでは、的確でバランスの取れた情報の受容、分析、伝達、編集を行い、価値ある情報を社会に送り出していくことのできる人材の育成を目指しており、マスメディア、情報関連産業、企業や自治体・公益法人の広報・宣伝部門、文化事業部門などの分野での活躍が期待される。

なお、「情報」その他の教員免許、博物館学芸員などの資格を取得することが可能である。

■ 人材育成目標

メディア・表現文化学プログラムでは、人間、社会、文化の多様性を学修できる環境を整えるとともに、次の7点に集約される基本的な能力、態度、姿勢を有する人材の養成を目標に掲げている。

- ・人間、社会、文化に関わる諸問題を多角的・分析的にアプローチを試み、主体的に取り組むことができる。
- ・社会のなりたちとその歴史を深く理解し、人類が生み出した文化に敬意を持ち、その価値を後世に正確に伝えることができる。
- ・身近な課題の探究を通して、地域社会の発展に貢献できる。
- ・異文化に対する理解を深め、調和ある国際社会の形成に貢献できる。
- ・情報社会とマスコミュニケーションの現状、映像や身体を介した芸術表現の発展、サブカルチャーとネット文化など、今日のメディア・表現文化の多様な面について、理論と実践の両面から、幅広く学習し、それらを応用することができる。
- ・メディアと表現が溢れ混沌とした現代社会において、的確でバランスの取れた情報の受容、分析、伝達、編集を行い、価値ある情報を社会に送り出していくことができる。
- ・マスメディア、情報関連産業、企業や自治体・公益法人の広報・宣伝部門、文化事業部門などの分野で活躍することができる。

■ プログラムの到達目標（期待される学修成果）

| 1 | 知識・理解

- a) メディア・表現文化の分析方法と理論について、基礎的な知識と理解を有する。
- b) サブカルチャーを含む現代文化の各領域について、基礎的な知識と理解を有する。
- c) メディア・表現文化の各領域の歴史について、基礎的な知識と理解を有する。
- d) 各種の媒体（メディア）の一般的な特性について、基礎的な知識と理解を有する。
- e) メディア・表現文化と、法制度、産業構造、社会構造の関係について、基礎的な知識と理解を有する。
- f) メディア・表現文化以外の人文科学分野について、基礎的な教養を有する。
- g) 人文科学以外の分野について、基礎的な教養を有する。

| 2 | 当該分野固有の能力

- メディア・表現文化の分析方法・理論を用いて、対象を分析し、批判的に理解することができる。
- サブカルチャーを含む現代文化の各領域について、その特徴と価値を理解し、適切に記述することができる。
- メディア・表現文化を取りまく文化的・社会的・歴史的背景を理解し、対象を歴史的に位置づけ、比較することができる。
- 媒体（メディア）の一般的な特性をふまえたうえで、個別的な対象の特性を記述し、分析することができる。
- 文化と社会との関わりを批判的に分析して、メディア・表現文化の望ましいあり方を構想することができる。
- 知識を応用し、適切なメディアや手法を用いて、自分の考えや感情を表現し、発信することができる。

| 3 | 汎用的能力

- 英語及びその他の外国語を用いて、読み、書き、話すことができる。
- 様々な状況や立場を想像しながら、どこに問題があるのか見つけ出し、その問題の性質を明確に理解することができる。
- 問題の解決に向けて、情報を多角的に収集して分析し、効果的に活用することができる。
- 問題の解決に向けて、情報や知識を複眼的、論理的に構築することができる。
- 他者とのつながりを築き、互いを尊重しながら対話を営み、問題の解決に向けて協力することができる。
- 日本語や外国語、また適切なシンボルや手法を用いて、自らの考えを表現し、発信することができる。

| 4 | 態度・姿勢

- 人間、社会、文化に関わる諸問題に多角的・分析的にアプローチを試み、主体的に取り組むことができる。
- 社会のなりたちとその歴史を深く理解し、人類が生み出した文化に敬意を持ち、その価値を後世に正確に伝えることができる。
- 身近な課題の探究を通して、地域社会に貢献する。
- 異文化に対する理解を深め、調和ある国際社会の形成に貢献する。

■ プログラムの履修要件

- ・しっかりとした基礎学力と旺盛な学習意欲を持つこと。
- ・豊かな感性と強い関心を持って、学習に取り組むこと。

■ カリキュラム立案と学修方法についての基本方針

- ・人文学部では、授業科目開設にあたり、教養教育と専門教育の連携の上に構築された学士課程教育の中で、確かな専門知識と幅広い教養を涵養し、人文的实践知を育むことを目指している。